

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[RexAcctScript を編集して下さい](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、アカウントリング ログ ファイルが CSV 形式を反映するように、RexAcctScript を手動で編集する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco アクセス レジストラのすべてのバージョンに適用されません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

[RexAcctScript を編集して下さい](#)

アカウントリング ログファイルにビルディングアプリケーションで使用できる CSV フォーマットを反映してほしかったら RexAcctScript を手動で編集し、リコンパイルして下さい。

ファイルの場所は

- /opt/AlCar1/examples/rexacctscript/AcctAsScript.cpp

会計の形式を変更するために、これらの変更を行なって下さい:

Line Number	送信元	『
2048	* (pEnd++) = 「\n」 ;	* (pEnd++) = 「」 、 ;
2037	* (pEnd++) = 「\t」 ;	* (pEnd++) = 「『 ;

注 「『領域がはいつています。

このスクリプトをコンパイルし、インストールに成功するために、[REX 会計スクリプトを使用し](#)
[て参照して下さい。](#)

アカウンティング ファイルの出力はこれに類似したのようです:

アカウンティング ファイルは今各エントリ間のカンマが (「」、) 含まれています。

[関連情報](#)

- [拡張ポイントの使用](#)
- [Cisco アクセスレジストラ 会計](#)
- [Cisco アクセスレジストラ サポートページ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)